



中山製鋼所

NAKAYAMA STEEL WORKS, LTD.

2023年度決算 補足資料

2024年5月8日

2023年度損益の概要

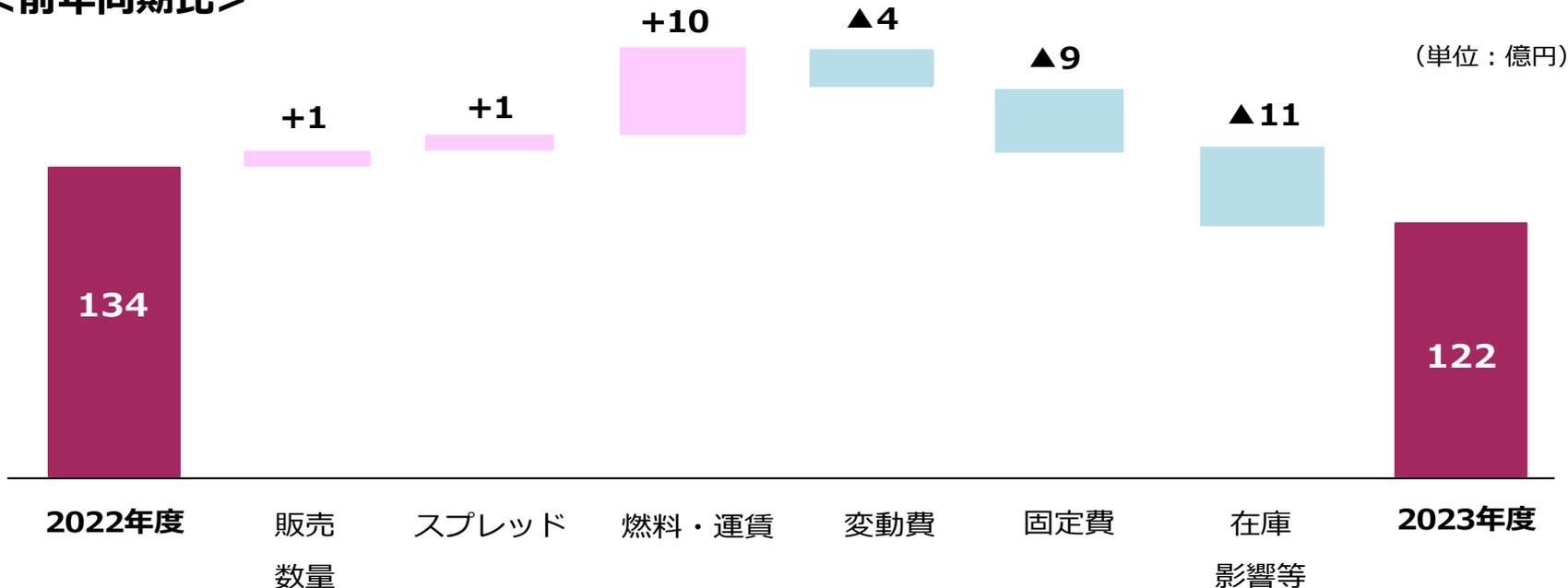
- 売上高は販売数量は増加するも、鋼材販売価格の下落等により▲41億円。
- フラット製品は主に販価下落によりスプレッド悪化、棒線製品は販価上昇によりスプレッド改善。
- エネルギーコストは改善するが、設備トラブルによるコストアップや労務費等の固定費増加等により営業利益▲13億円、経常利益▲11億円。
- 売上高は前年同期比で▲2.2%、経常利益は同▲8.4%の減収減益。

(単位：億円)

	2022年度	2023年度	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	1,885	1,844	▲ 41	▲2.2%
営業利益	136	123	▲ 13	▲9.7%
経常利益	134	122	▲ 11	▲8.4%
ROS	7.1%	6.6%	-	▲0.5%
当期純利益	102	89	▲ 13	▲12.9%

経常利益の増減分析 ～ 2022年度 対 2023年度

<前年同期比>



鋼材の品種別数量

(千t)

	2022年度	2023年度	増減
棒線	246	227	▲ 19
コイル	404	462	+ 58
鋼板	249	237	▲ 12
建材	187	176	▲ 11
受託	6	6	+ 0
鋼材合計	1,091	1,108	+ 16
(内、輸出)	(69)	(70)	(+ 1)

スプレッド

(千t、千円/t)

	販売量	販価	スクラップ	スプレッド
2022年度	1,091	133.7	54.4	79.2
2023年度	1,108	129.3	51.6	77.6
増減	+ 16	▲ 4.4	▲ 2.8	▲ 1.6

連結貸借対照表

- 自己資本比率 : 2023/3末 65.1% 2024/3末 68.7%
- Net有利子負債残高 : 2023/3末 ▲65億円 2024/3末 ▲69億円

(億円)

		2023/3末	2024/3末	増減
資産の部	現預金	168	165	▲ 3
	売上債権	454	471	+17
	棚卸資産	348	320	▲ 28
	有形固定資産	449	471	+22
	その他	69	94	+24
	資産合計	1,488	1,521	+33
負債の部	仕入債務	220	201	▲ 19
	有利子負債	103	96	▲ 6
	繰延税金負債	40	44	+4
	諸引当金	46	43	▲ 3
	その他	111	91	▲ 20
	負債合計	519	475	▲ 44
純資産の部	株主資本	933	1,000	+67
	その他	36	45	+10
	純資産合計	969	1,046	+77
負債純資産合計		1,488	1,521	+33

2024年度業績予想

<2024年度（前年度比）>

- 2024年度通期業績は、前期比で鋼材販売数量は増加を見込むが、主原料価格上昇に伴う鋼材スプレッドの縮小や固定費負担増加などにより増収ながら減益予想。
- 2024年度の配当は、2023年度と同様、中期経営計画の目標である連結配当性向30%を前提とし、前期比▲10円の40円/株を予想。

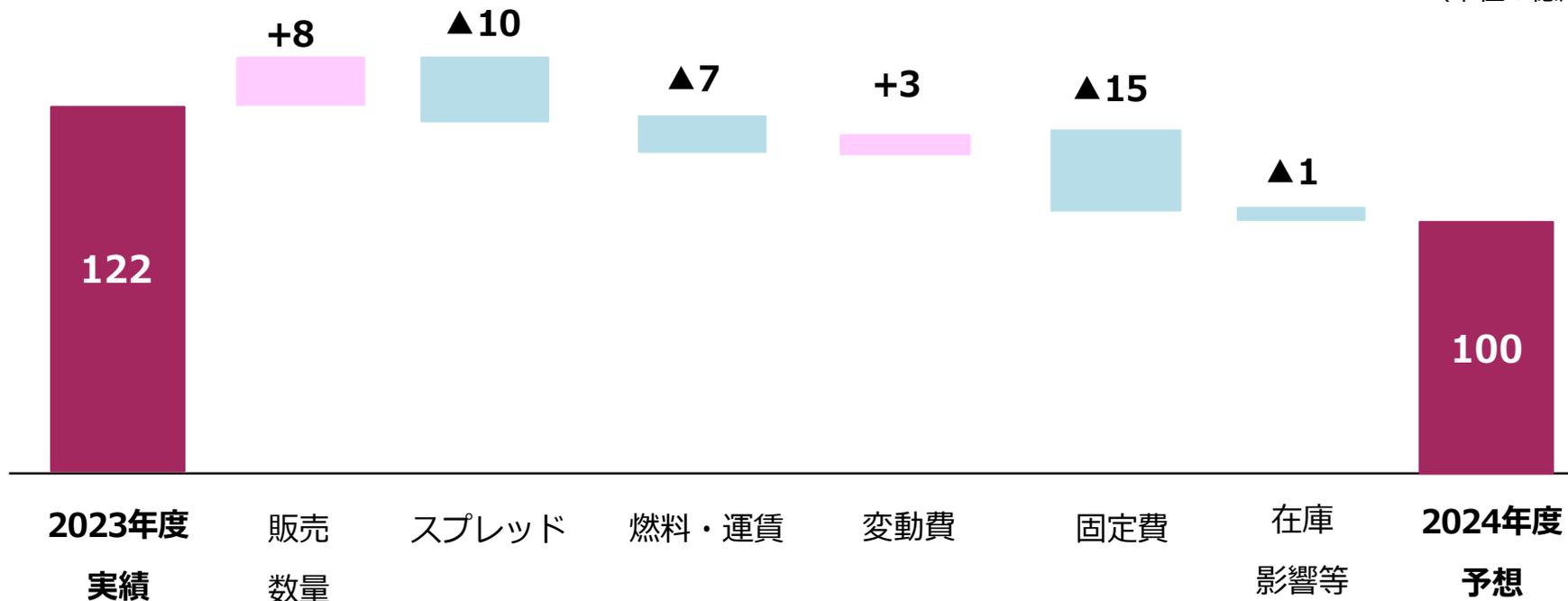
（単位：億円）

	2023年度			2024年度			増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上高	929	916	1,844	930	990	1,920	+76
営業利益	66	58	123	46	61	107	▲16
経常利益	65	57	122	44	56	100	▲22
ROS	7.0%	6.2%	6.6%	4.7%	5.7%	5.2%	▲1.4%
当期純利益	44	45	89	33	39	72	▲17
配当	@19円	@31円	@50円	@18円	@22円	@40円	▲@10

経常利益の増減分析 ～ 2023年度実績 対 2024年度予想

- 鋼材販売量は、自動車向けの回復を見込むが、その他分野は需要低迷が継続。電気炉材の拡販による増加を見込む。
- 主原料価格の上昇を前提に、鋼材スプレッドは悪化する見通し。
- 労務費・減価償却費・外注作業費等の固定費のコストアップを織り込む。

(単位：億円)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。